

JCS/TAWC 受賞者の学会参加報告(AHA2019/ESC2019)

AHA2019 に参加して

福島県立医科大学循環器内科学講座 ひじおかな おこ
脇岡奈保子

この度、AHA2019への参加に際しまして、日本循環器学会ダイバーシティ推進委員会より第7回 Travel Award for Women Cardiologist をいただきましたことを大変光栄に思います。選考頂きました委員の先生方、日本循環器学会関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。また、AHA 参加に際し、ご指導いただきました竹石恭知教授、石田隆史教授、不整脈チームの金城貴士先生、上岡正志先生、山田慎哉先生をはじめ、サポートいただきました医局の先生方にこの場をお借りし御礼申し上げます。

2019年11月、ペンシルベニア州フィラデルフィアにて開催された American Heart Association の年次学会に参加いたしました。AHA には前年のシカゴに引き続き2回目の参加となりました。

今年は日ごろの臨床において主に携わっている不整脈分野のポスター発表をさせていただきました。今回は、「Visit-to-Visit Blood Pressure Variability (VV-BPV) Predicts Recurrence of Atrial Fibrillation in Patients with Hypertension」のタイトルで、収縮期血圧、収縮期血圧における VV-BPV および、拡張期血圧、拡張期血圧における VV-BPV が心房細動アブレーション術後の再発に関与するかについて検討し発表いたしました。

前年は Chairperson に対して各自 Quick presentation を行う時間がありましたが、今年は Chairperson の姿はありませんでしたので、近くのポスター発表者数人で集まり、相互に presentation を行いました。自分の発表は準備していても、他の方への質問はなかなか英語での表現に困ることも多くありました。また session の中には



図 1

TED talk 形式をとり、スライドショーは1~3枚程度で、口頭での presentation がメインのものもあり、speaking, listening とともに自分の語学力を見直すきっかけにもなりました。また発表内容だけでなく、職場の環境などについても情報交換を行い、海外では日本よりさらに多くの女性循環器医師が活躍し、海外学会にも多く参加していることを知り、刺激を受けることができました。私の所属する福島県立医科大学でも循環器内科に進む女性ドクターが着実に増え、また今回、東北以



図 2

北ではじめて Travel award に選考いただいたことを踏まえ、後進の女性ドクターとともに今後も邁進していきたいと思っております。

最後に、熊本を中心とした7月豪雨、そして未曾有のコロナ渦に立ち向かわれている全医療関係

者の方々に心よりのお見舞いと、一日も早い復興、収束をお祈り申し上げます。

著者の COI (conflicts of interest) 開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし

*

*

*